



室蘭・中島コンソで体験

▲ 小型ロボット・バルロ（手前）の動きに合わせて体操を行う市民ら

製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）と室蘭工業大学（佐藤一彦学長）による共同研究を実際に試す「おしゃべりロボットと体操しよう」が24日、室蘭市中島町の中島商店会コンソーシアムふれあいサロン・ほっとなぐらで開かれ、市民らがロボットに合わせて体を動かす健康づくりを体験した。

介護予防やリハビリテーション支援に関わる「小型ロボットを用いた体操支援システム」。市民らに実体

ロボ先生が 体操指導

験してもらい有用性を評価するとともに、プログラムの問題点などを改善する目的で同大システム制御工学

研究室が主催した。この日は、約10人の市民らが参加した。

ロボットのバルロが「両手を上にして、マッスルポーズ！」や「もう一度、正面を向いて」など声を出しながら手本のポーズを示した。参加者は小さな指導員に従い、筋力強化やバランス能力の維持、ストレッチに比重を置いた体操に、真剣な表情で取り組んでいた。

（松岡秀宣）